

果を上
たとい
スタの
でいる
人もい
いため
と条例

寄付
育園に
の「セ
田区）
町区）
育保育
グロー
デザイン
は新
感乗対
天取市
スグ2

新都市部
医療従
入れる
閉園して
庭やマ
策が求
が長く
事業所
育園な
供する
エーステ
20枚提
組合、セ
omato

表者名
を記載
を記載
縮
場か
道を
路灯
サイ
著た
（こ

広告

日本の森林を 守り育て続けてきた 株式会社高橋林業は、 創業20周年を迎えます。

緑の山々が多くの人々の 豊かな未来生活を創造します

▲▲▲ 森林を守り育て 未来につなげる仕事

日本は、世界でも有数の森林国だ。自然豊かな環境の下、スギ、ヒノキなどを植栽し、育て、生活に役立ててきた。手入れが行き届いた森林はきれいな水や空気を作り出し、動植物の生態系も守られ、人々に潤いとやすみを与える。樹木が二酸化炭素を吸収し、酸素を作り、水を供給することで地球温暖化防止や土砂災害防止など、国土の保全にも大きく貢献している。



獣害により樹皮が剥がれた木を伐採している様子。

1980年10月、産出額約12兆円、従事者約14万人だった林業は、この40年間で8分の1以下に減少、手入れの行き届かない森林の荒廃が進む中で、(株)高橋林業の高橋代表は後継者を育て、山を救うことに力を注ぎ、成果を出してきた。

▲▲▲ イメージ刷新と 若手育成に取り組み

林業が、国や人々にどうこれほど重要な仕事か言うまでもないが、職人の数は年々減少傾向にあり、国内の林業従事者の平均年齢も52・4歳と高齢化が進んでいる。しかし、高橋林業では20・30代が中心と、業界のイメージとは少し異なり若年層の取り込みに成功している。人材育成の一環として重視しているのが、林業技士や流域森林管理士などの資格取得、技術と知識の集積を会社をあげてバックアップしている。

「資格取得にはコストがかかりますが、林野庁の『緑の雇用』事業をフル活用して社員を育成しています。資格や研修を受けるために給料が下がっては意味がないので、月給制にして諸手当の充実をはかり、仕事とスキル向上に専念できるようにしています。また、資格や研修を受けることにより、以前より事故や災害が確実に減少しています。」

ほかにも福利厚生の充実など、これまでの林業のイメージを刷新する会社運営に努めている。もっと夢のある仕事にし、他業種の会社と競争するような労働環境にしていきたいというのが高

創業20周年の安定企業で正社員に!



内容 森林整備作業員
資格 普通自動車免許 (AT限定可)
給与 月給166,000円～390,900円
○その他の手当 ●主任手当5千円～2万円 ●家族手当1万円～
●住宅手当1千円～6千円 ●現場代理人手当1万円 等あり
○賞金は能力、経験等により決定 ○昇給・賞与は会社業績による

勤務地 神奈川県内
時間 7:30～16:30
休日 日・祝 他☆夏季休暇、年末年始、会社設立日
昇給あり、賞与年2回、社保完、交通費支給、マイカー通勤可(無料駐車場あり)、勤退職金制度あり

未経験・経験者問わず、まずはお電話ください 携帯 090-8646-5897 (担当/高橋まで)

橋代表の思いでもある。(株)高橋林業は、山と共に歩んで今年で満20周年。環境保全、防災に資する林業を発展させるために必要な若い力に向けての眼差しは、やさしい。

※参考資料：平成28年度林野庁森林・林業白書

幸福は緑の山と青い水
株式会社 高橋林業
042-689-2848
〒252-0186 神奈川県横浜市緑区牧野8772 FAX042-684-9610
株式会社高橋林業 検索
www.takahashi-forestry.com

20周年記念プレゼント

単行本

「全部、山が教えてくれた」

- 第一章 森林の本当の価値について
- 第二章 高学歴を持った人が就職してくれるような林業に
- 第三章 山で働くということ
- 第四章 山の楽しみ方について
- 第五章 樹木の有効活用(特用樹・薬用樹)について
- 第六章 山の年中行事
- 第七章 林業の未来と森林環境税

インタビュー 林業再生への道とは

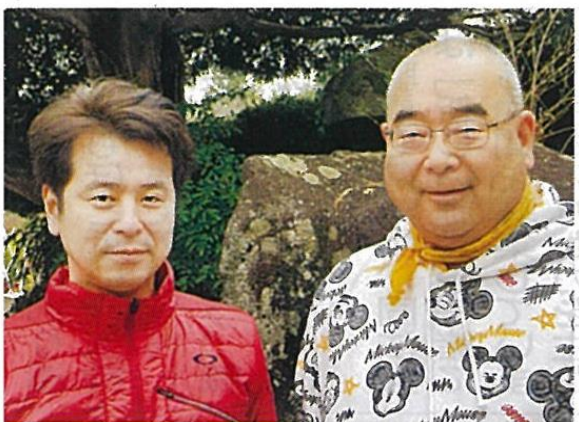
単行本の原稿が仕上がりが次第、160ページを希望者に差し上げます。ご希望の方は、FAX又は携帯へ①郵便番号②住所③氏名④原稿希望の旨をお伝えください。(担当/高橋まで)

FAX 042-684-9610
携帯 090-8646-5897

※2020年4月20日を目前に原稿を順次発送予定。
※お預かりした個人情報は本件以外の目的で使用することはありません。

幸せは緑の山と青い水

「100年後も残る山林を整備し、次世代やその後の世代にも森林の大切さを伝えたい」との信念のもと、社長の正二さんが山梨県職員を退職後、南都留森林組合参事を得て1999年に創立。2007年に株式会社に移行した。現在は息子で取締役の研吾さんら13人で県内を中心に森林整備を行う。



株式会社高橋林業

取締役 高橋研吾さん 社長 高橋正二さん
世に津久井地 だったと思わ 必ず必要に 100年後に いるが、50年、 いかもしれな の仕事はすぐ に結果が出な する。「我々 二さんは山の恩恵に感謝 活も成り立たない」と正 果たしている。それら をなくして我々人間の生 貯えるなどの様々な役割 を果たしている。それら をなくして我々人間の生 活も成り立たない」と正 二さんは山の恩恵に感謝

林業は高齢化が進み、林業従事者はピーク時の3分の1まで減少する。緑区でも数社しかない。

「森林は木材の供給だけでなく、二酸化炭素を吸収して酸素を作り出した、地層に浸透した水を貯えるなどの様々な役割を果たしている。それらをなくして我々人間の生活も成り立たない」と正二さんは山の恩恵に感謝する。「我々の仕事はすぐに結果が出ないが、50年、100年後には必ず必要に思われる仕事。後世に津久井地

域の素晴らしい自然を残していくためにも、環境に恵まれた相模原からその大切さを伝えていきたい」と話す。

また、被害では台風19号で改めて思い知らされた自然災害の脅威にも注目する。「今回の被害では土砂災害が多くみられたが、この一番の対策は災害に強い山を作ること。間伐や枝打ち、新たな木の植栽など、きちんと手入れすることが災害に強い山林になる。そのために誇りをもって仕事に取組んで行きたい」と研吾さんは話した。

住) 緑区牧野8772
☎042・689・2848
HP) <https://www.takahashi-forestry.com/>



なケアと紐かな配慮に